

2015年11月20日

プロジェクト報告書

団体名 むさし村山ストリートダンス協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

ダンスシャワー2015

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

子どもたちの日々は忙しく、競争にさらされ、大人の社会の縮図のような様相を呈しているおり、人間関係の構築にも大きく影響しているようです。非日常の夢のような空間で、競い合わない仲間たちが、地域の人々に向けダンスを披露することで、地域に元気を届けるという貢献を体感することができる。

武蔵村山市では以前から子どもたちのストリートダンスがとでも盛んで、昨年本助成金による企画を特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場が実施したが、当協会が主催しより一層キッズダンスを活用したまちづくりを活かすことで、子どもたちの自己肯定感や達成感を持つ機会としたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

武蔵村山市内で活動するダンス関連団体が7~8団体あり、そこに所属する子どもが400名以上おり、それらの団体を中心に声をかけ、コンテストではなく、ダンス大好きな子どもたちの交流を目的とし、地域の人々を巻き込んだ地域活性化につながるイベントとした。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

当初サーカステントでの実施を予定していたが、足場が鉄板敷きとなるので、専門家への依頼によるきちんとしたステージを設営し、より踊りやすくした。実施に当たっては、多くのイベントでつながったダンス関連団体と協力し合い、準備から運営まで多くの方に関わっていただいたことで、子どもたちの安全確保や安心して参加できる環境ができ、披露する子ども達は300名以上、観客は延べ1000名以上の動員ができ、今後の活動につながる大きな取り組みとなった。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

きちんとしたステージ作りができたことに加え、懸念していた天候が良かったこともあり、観客にも十分楽しんでいただけるものとなった。出演者である子どもたちは、ダンスを始めたばかりの未就学児から、プロ顔負けの高校生まで、年齢層も広く、シャワーのようにダンスステージを繰り広げるというタイトルの意味通り、3時間以上にわたる楽しい取り組みとなった。観客の皆さんからも、とても楽しく元気をもったと好評を博しました。

また当協会のキャラクター「ムラッパ」の出演時には、木下サーカスの「ホワイトライオン」やJ.comのキャラクター「ざっく」の共演もあり、出演者と観客が一体に大変盛り上がりしました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし